

5.22 CIM 解決研究会第 25 回勉強会のご報告

平成 29 年 5 月 22 日

CIM 解決研究会事務局

去る紀尾井フォーラムにおいて、56 名の参加者を得て第 25 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

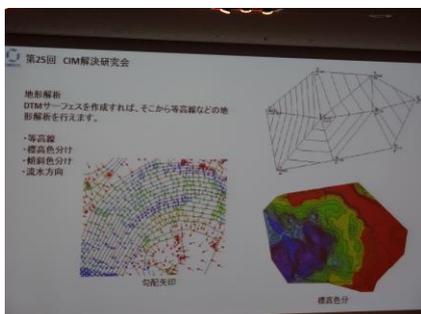
「次なるステップへ～i-Construction -最新計測システムによる効率化と計測事例-」 (株)トプコン 本田肇様

i-Construction の最新の状況についての解説や、スキャナと UAV、MMS でそれぞれ取得した点群を統合できるソフトウェア「MAGNET Collage」の活用により、解析時間を 1/4 に短縮した事例に関するお話を頂きました。参加者の方からは「スキャナ、UAV、MMS の混合利用はすごく興味がありました」といった感想を頂きました。



「今更聞けない Civil3D の基礎」 (株)アドデザイン 山本泰造様

地形を 3 次元データで表すためのソフトウェア「Civil 3D」の使い方が分からない方やこれから使いたい方向けに、Civil3D の歴史やどのような仕組みで出来ているかを踏まえた上で、地形のみえる化、土量計算、四万十川の川下り走行の例など種々のシミュレーションができるソフトであるというお話を頂きました。参加者の方からは「1995 年にすでに 3 次元化出来ていたことに驚きました」といった感想を頂きました。



「現場の 3 次元化事例等」 当会 齊藤学一、福士幹雄

福士からは、現場踏査から電子納品に至るまでの現場でのデータ処理の流れを説明したうえで、オルソ画像上に建機や人などのパーツを配置するモデル作成の事例などのお話をさせて頂きました。齊藤からは、当会で言うドローン教室の概要や、災害時のドローン利活用に関する NPO 法人「ドローンエイド」に関するお話をさせて頂きました。参加者の方からは「現場の話は面白い、みえる化は理解しやすい」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には 36 名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。